

Personal Assistant
for
You

「Study-仕事の役目」 特別レター

2018年8月28日

「パーソナル・アシスタント」のレイトワーク

『レイトワーク』

人生の<後期の仕事>を指しています。「大江健三郎」が「ニュースステーション」に出演した時に紹介したエドワード・W・サイードの論です。

『晩年のスタイル』はサイードの著書で、2007年岩波書店から出版

年をかさねて最近こう感じるようになりました。生きるということは、自分を明らかにする営み、自分を知る旅。

独立志向はまったくなかったのに、ちょっととしたきっかけが独立へつながり、何の業をするかと考えぬいた先に「パーソナル・アシスタント」が生まれ、『何ですか、それ?』と言われ続けながらも、続けてきて、今ではこれがわたしの<道>、My Way、生きる<戦略>なのだと合点。

3年前の2015年12月21日の朝、パッと聞いたこと、「そうだ、わたしが一番守りたいと思っているは、自分の精神性なんだ…！」。

精神性。自分自身の心の働き、心の持ち方、気構え、気力といったもののすべて、「精神」。意識するともなく大事にしてきて、今さらながらにハッキリ文字で目に前に現れたのでした。

そう、だから、「お一人さま」も少々の不安定さも受けとめられている。<自分ならでは>の仕事と人生を問うている。人生の辻褄は合っているものだと小さく悟りました。

<自分ならでは>の仕事と人生を「自業」（じぎょう）と称して10年ほどになります。「自業」をどう全うするか、そう自問したのは2002年の春です。何か新しい学びが必要なのはわかりました。

さて、それは何だろう。あれやこれや探し求めて、2003年の年明けに出会ったのが『算命学』です。東洋の自然観を元にしたこの知の文化遺産が実になじみ、独学を決めたのでした。

勉強にかなり時間はかかりましたが、『経営略系コンサルティング』と『自業コンサルティング』に実りました。LYK流「パーソナル・アシスタント」の『晩年のスタイル』です。

リー・ヤマネ・清実

古典が示唆する未来の針路

算命学

古代人の作り上げた「体験的自然科学理論」で、思想学、哲学に近いと『原典』に書かれています。生活の糧を得るために自然界と人間界を深く観察し、解釈し、人間界の役に立つものとして構築した知恵の集大成といえます。先達たちに敬意を表し、大事に使わせてもらいます。

算命学を知ってから、文献をあたったのは、日本における正統、高尾義政氏の著書です。その基軸は『原典算命学体系』（全11巻、以下「『原典』」）。第一巻の「まえがき」は次のように始まっています。

『算命学は数千年の長きにわたって東洋の一握りの人達の間で受け継がれ、ある意味では眠り続けていた思想学であります。古代東洋人の知恵と想念の結晶といつても過言ではありません。（中略）日本という国は東洋に発した諸々の文化の宝庫といつてもよく、今日においては中国やインドの

古代すらも、日本に残存している文物で解釈可能なところがあるのです』。

「後記」には算命学の構造について書かれています。なんと、『原典算命学体系』には収められなかった大テーマがまだ2つあるそうです。いつか執筆したいと書いてありますが、今となっては故人のやり残した仕事になってしましました。

古代から現代に受け継がれた一つの文化遺産。時流と自流を読み、前途を拓くためのよい針路を与えてくれます。



独学のための準備

すぐ近くに…

算命学を知ってからすぐにネット検索して、びっくり。高尾氏主宰の高尾学館算命学大阪校が事務所のすぐ近くにありました。いつも前を通っているビル。だからといって通うつもりは全くありませんでした。すでにご本人は他界され、意思は継承されても、本質は異なりますから。

算命学を知った最初から、独学のためのテキストは高尾氏の著書だけにしました。ネット検索すると、多くの習得者がいて、派閥もあるようですが、源は『原典算命学体系』（全11巻）でしたから。

まずは入門書のような2冊を購入。『東洋史観1 悠久の軍略』、『東洋史観2 東洋の予知学』。この2冊を読み、プロー図にまとめ、算命学の概観は捉えられました。

ちなみに「軍略」とは、国づくり人づくりをテーマとするもので、武器による戦いのためのものではありません。時流を読むヒントにもなるものです。

2004年5月、京都の「都めっせ」の古書ま

つりに『算命学』（8巻）、『心技篇』（上下2巻）が出ました。どちらもまるで新品。「こういうものは出会いですからね」と老齢の店主に背中を押しされ、購入を決断。ただし、勉強の間ではなく、カバーをつけただけ。

2007年6月、名古屋の老舗古書店に『原典算命学大系』（全11巻）が登場。実は2004年秋にも同店に出て、わざわざ確認に行ったのですが、総合的に考えて、“今じゃない…”。その判断は結果的に正しかった。新品同様の箱入り全11巻が宅配で事務所に届いた時、“ようこそわたしの元へ…！”。

独学のための準備は整った。でも本腰を入れられたのは3年後の2010年春でした。

勉強・インプットに2年半

オートポイエーシス

チリの生物学者がとなえた論。ギリシャ語からの造語で、オートは自己、ポイエーシスは製作で、自己組織化と訳されて、バブル崩壊後の1995年から1997年にかけて、新しい組織・システム論として取りざたされました。

2010年4月から独学期間にに入りました。心境の変化は突然やってくるもので1月下旬のある日、“そうだ、今年だ、今年からはじめよう…！”。ほんのひと月前には自分でも想像していなかったことです。

学習の経過は記録してあります。2010年4月3日原典第一巻の学習スタート、2012年6月19日原典全巻の読み・まとめの完了、2012年10月15日テキストの補足的学习、まとめ完了。インプットに2年半費やしました。

“これまでこれほど勉強したことはなかつ

たなあ…”を感じるほど、集中してよくやりました。知る愉しさを実感しました。

時には自分なりの発見も。例えば、算命学でいう「次元」の教えが、これは「オートポイエーシス」ではないかと感じたり。ネット検索で偶然出てきた索京都大学人文学研究所の共同研究『陰陽五行のサイエンス』。こういう研究があるのかと感心。科学するところ、多様性を尊重する姿勢が大事です。

かけ離れているようでもどこかで繋がっているのが知。この認識もまた、大収穫。

時流にそなえ自流にそなえ経営・人生

自業、自流

自分ならではの仕事と人生をさす言葉として「自業」（じぎょう）を、自分の流儀や大きな人生の流れをさす言葉として「自流」を使っています。

学びに終わりはありませんが、2012年10月以降は、人の役立つものにする作業に入りました。なんども試行錯誤を繰り返しつつ、

『経営略系コンサルティング』に結実しました。もちろん今後も刷新を重ねていきます。

膨大な数の先達が積み上げてきた知の遺産。壮大すぎてその全てを網羅することはできませんが、根本的な考え方と姿勢をおさえれば、経営者や後継者、起業家や自業家に、ひとつの針路を示すものとして使える。

『経営略系コンサルティング』は算命学の論と技法を使い、次の2つのテーマを明らかにするものです。一つは「自分を知る」、もう一つは「タイミングを知る」。

自分を知り、大局をとらえて、いつ動くか動かざるか。経営と人生にメリハリを利かせ、小気味よく自流にそなえ生きる。それをペソナルにアシストをする『経営略系コンサルティング』。未来にリアリティーが出て、〈自分を動かす〉ものになるはずです。

ひとつの教養として

不確実な世の中で奮闘する人間のために生まれてきた哲学や宗教。算命学もその一つ、陰陽と五行の考えを源に積み上げられた哲理。

特に「軍略」の教えは今に通じます。現代の戦略的マーケティング論でも「構造が変れば人の意識が変る。意識が変れば行動が変る」と言いますが、「軍略」の焦点はまさにそれ。

『「軍略」を現代的な表現でいえば、「予測と対処および準備の学問』』と『原典』に書いてあります。

フランスの数学者イーヴェル・エクランドは著書で『好景気や不景気の真最中なら、景気の現状は誰にでもわかる。難しいのは、流れの「変化」を見抜くことだ。真に貴重な情報は、そこにある』。

『日常業務は戦略的業務を駆逐する』という言葉もあります。いま真っ只中に埋没せず、物事を俯瞰してみる視点、センスに、「軍略」の教えが役立ちます。『経営略系コンサルティング』に生かしています。

『偶然とは何か』

イーヴェル・エクランドは1944年生まれ。学者の中でも数学者が一番ユニークと言われるようですが、この本の副題は「北欧神話で読む現代数学理論全6章」。数式はさておき、語りは実に明快で本質をついているのが読んで為になります。

ブレない心のひとつの支えとして

『無の探求』に、「定」（心の平安、安らぎ）は知恵であると書いてありました。何事も心のもち方しだいとは言われますが、心を平安に保つのは知恵の賜物というわけです。

同じ逆境でも、落胆の大きい人もいれば、それほどでもない人もいる。落胆が大きいと立ち直りに時間がかかり、場合によってはあたふたし過ぎて、さらに状況を悪化させることも無きにしも非ず。

起業する人や起業してまもない人へいつも贈る言葉、「良い時に舞い上がり、悪いときに落胆せず、いつも平常心を心がけましょう」。

とはいえそれが難しい。だから知恵が必要なのでしょう。そこに算命学の教えが一役買います。例えば、『眞の成功者とは、他の誰も犠牲にせず、自分の力で伸びていく人。力まかせでない人生』。簡潔かつ大胆に根本的なことを言ってのけるのです。

『無の探求』

「柳田聖山・梅原猛」著の角川ソフィア文庫仏教の思想全12巻の第7巻、〈中国禪〉の一冊です。2008年に半分ほど読んで、そのままになっていますが、いずれ残りを読みたくなる時がくると思います。

前途を計るひとつの目安として

「堀田善衛」が教えてくれたこと、『古代ギリシャでは過去と現在が（我々）の前にあり、従って（我々が）みることのできるものであり、（我々が）みることのできない未来は（我々の）背後にあるものと考えられていた』。これは意味深い。

見えない背後に向かって、背中から後ずさりするように入っていく。右へか左へか、その中間か、はたまた動か

すじっとしているか。その意思決定は、〈見ることのできる〉過去・現在に学べばよい。そう教えてくれているようです。

古代から現代まで、この世に蓄積されてきた多種多様な知。その中から自分に合うものを選び、使えばいいと思います。算命学も〈使える〉知の遺産です。『経営略系コンサルティング』はそのエッセンスにあやかっています。



ご案内 * ホームページより

『経営略系コンサルティング』

『自業コンサルティング』

対象	自分の思いや将来像にめりはりをつけて、自分ならではの仕事と生き方のアウトラインを見出したい方、ライフワークを見つめたい方など。
内容	<p>【受託後の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「ビジネス×ライフ略系表」の提供 上記1を依頼者にて記入、受け取り (面談日の最低3日前までに当所へ提出) (以下の2つの方法のいずれかによる提供) 3-(a) 当所にて直接面談 * 新規初回は必ず直接面談 3-(b) 書面(パーソナル・アシスタント書)による * 既存クライアントの場合など <p>【アウトプットするオリジナル資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①略系カルテ
料金	<p>1件(お一人)30,000円</p> <p>* お支払いは請求書発行後銀行振込み または面談時に現金お支払い</p> <p>【フォローアップ】(別途料金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年略系観更新(助言付記)を提出(1万円) ・隨時ご希望の際にフォローアップ面談(5千円)
予約	<p>電話またはメールにてお問い合わせください。ご紹介者の場合はその方のお名前をお伝えください。 「略系表」フォーマットは、ご希望に合わせて、メール添付または郵送いたします。</p>

対象	経営と人生の道すじを計る上で、意思決定の一つの目安、判断材料がほしいと思われている経営者、後継者、起業家など。
内容	<p>【受託後の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ビジネス×ライフ略系表」の提供 2. 上記1を依頼者にて記入、受け取り (面談日の最低3日前までに当所へ提出) 3. 訪問または当所にて直接面談 4. 所定の日までに依頼者へ報告書提出 <p>【アウトプットするオリジナル資料(基本)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①略系カルテ ②100年略系観 & グラフ ③10年略系観 ④1年略系観 ⑤50年自流水図
料金	<p>1件(お一人)150,000円</p> <p>* お支払いは請求書発行後銀行振込み または面談時に現金お支払い</p> <p>【フォローアップ】(別途料金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年略系観更新(助言付記)を提出(1万円) ・隨時ご希望の際にフォローアップ面談(5千円) <p>【その他、顧問形態】</p> <p>隨時、継続的にアシストできる顧問形態をご希望の場合、ご相談にお応えいたします。</p>

予約	<p>電話またはメールにてお問い合わせください。ご紹介者の場合はその方のお名前をお伝えください。 「ビジネス×ライフ略系表」フォーマットは、ご希望に合わせて、メール添付または郵送いたします。</p>
----	---

年令をかさねるごとに年をかさねる愉しさ

ときどき人に言っています、「もし独立せずに会社員を続けていたら、ずいぶん傲慢な人間になっていたんだろうと思います、今でも十分傲慢かもしれません」。

本当に独立してよかったです。ある時点でわかったつもりになっても、10年も経つと、まだまだわかっていないかったとわかった。おかげで、謙虚さも少し身につきました。

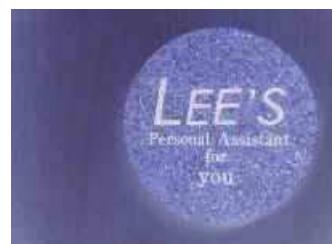
そして何よりと自分自身を解明していくことになる。良い点もよくない点も、わかるにつれ、自分にない面があり、人にはない面が自分にあり、誰

でもその人なりのものがあると思うと、自他ともに愛おしくなり、「愉しいなあ、生きるって」。

「パーソナル・アシスタント」は、仕事だけでなく、生き方のコンセプトでもありました。<自分ならでは>の仕事と人生で誰かのためになる生き方、それを「自業」(じぎょう)と称して久しいのですが、わたしの自業後期はこれから本章です。

さて、この先にまた、どんな発見と出会いが待っているのか、今からたのしみです。

リー・ヤマネ・清実



Personal Assistant for You

パーソナル・アシスタント・ギヤラリ-LEE'S
リー・ヤマネ・清実

大阪市北区芝田2丁目8-15
北梅田ビル35号
電話&Fax: 06-4802-1525
Info@leeslee.com
http://www.leeslee.com